

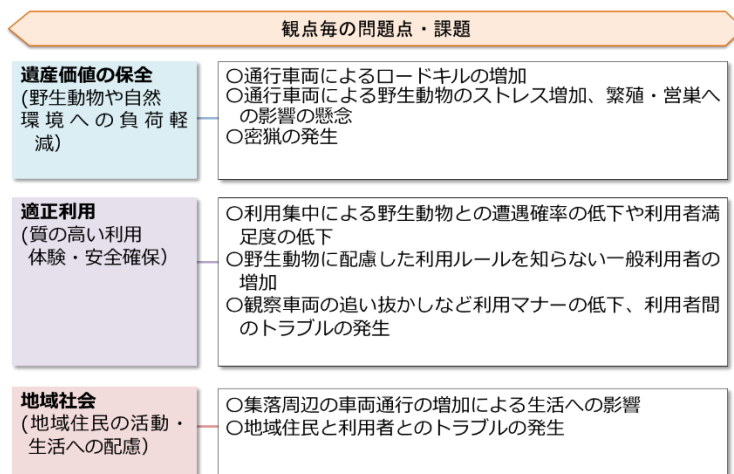
## 奄美大島三太郎線周辺における夜間利用適正化連絡会議の設置について

### 1. 背景と目的

・近年、市道三太郎線及びスタル俣線周辺（以下、三太郎線周辺道路）で夜間に野生動物の観察を行うナイトツアーの利用者が増加しており、野生動物のロードキルの増加や野生動物へのストレス増加、密猟の発生等の悪影響がでている。利用者にとっても混雑による野生動物の出没頻度の低下や車両の追い越しによる利用者間のトラブル発生など、利用環境にも悪影響が生じている。

・環境省では、三太郎線周辺道路における問題を解消するための利用調整を行うことを目的に、令和元年度より住民や関係者へのヒアリング、利用の実態調査等を行ってきた。

・今後、さらに世界自然遺産登録を契機とした利用の増加が見込まれる観光客、ガイド業者への対応として、自然を保護しながら質の高い自然体験ができるナイトツアーの利用ルールを検討する場が必要である。



### 2. 利用ルール策定の考え方

・三太郎線周辺道路は、夜間に利用が集中しており、主な利用が野生動物観察であることが推測される。また、夜間の利用はガイドツアーによる利用だけでなく、地元の一般利用、レンタカーによる利用なども多いことが分かっている。

・三太郎線周辺は集落に密接している一方、世界自然遺産推薦地が含まれるなど自然環境の保護上も重要な地域である。

・このような多様な利用者、地域との密接度、自然保護上の重要性など踏まえた上で、ナイトツアーのオーバーユースを地域の問題としてとらえ、自然環境を保護しながら質の高い自然体験が出来る、持続可能な利用のあり方を検討していく。

・夜間の野生動物観察に特化した利用ルールの策定は、国内では前例がなく、新しい試みとなる。実証実験や試行ルールの運用をしながら、様々な意見をフィードバックして順応的によりよいルールを作っていく必要がある。

### 3. 三太郎線周辺における夜間利用適正化連絡会議の位置づけ

- ・住民、観光関係者、自然保護関係者、行政が集結し、三太郎線周辺におけるナイトツアーのあり方について、意見を集約する場。
- ・三太郎線周辺の利用ルールや運用方法について、地域の合意を行う場。
- ・三太郎線周辺の利用ルールを運用していく実施主体。

